

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会
社会福祉法人 石心福祉会
医療法人社団 東京石心会

海燕

うみつばめ No.68 2015年9月

発行人：石井暎禧

編集人：辻田征男 発行：石心会本部
〒212-0013 川崎市幸区堀川町580番地
ソリッドスクエア東館4階

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135
<http://www.sekishinkai.or.jp>

健康塾基調

健康塾は地域住民との連帯のきずな

辻田征男

社会医療法人財団石心会専務理事

2012年より川崎・狭山で開始した健康塾は3年目を待たずして延べ参加者数が10万人を超えた。両地域共それぞれの参加者は今年度前半に相前後して5万人を突破している。

これは、最初に提唱した私の予想を遙かに超える成果であり、お手本にした湘南鎌倉総合病院グループの活動を広がりと深さに於いて超えてしまった感がある。これほどの成果を挙げた背景には、職員の涙ぐましい努力があったのはもちろんだが、その彼らをして予想以上と言わせるこの大きなうねりの根源は何か？

一つには近年、高齢社会の登場によって国民の健康意識が、かつてないほどの高まりを見せていることが背景にあり、健康塾はこうした時代の要請にぴったりとフィットしたイベントとなったことは間違いない。

しかし、それだけではなく、もっと大きな要素としてわがグループと地域住民との間にある他に類を見ない深い関係性に根源があると私は思う。

住民運動で実現した川崎幸病院の増床

川崎幸病院が新築移転を目前にした2011年の夏、川崎市は、市立の2病院の余剰病床(61床)を「救急病床」として使用する「川崎市重症患者救急対応病院」を川崎市南部保健医療圏にある救急告示医療機関限定で募集した。川崎市はこの当時、総務省の発表資料によれば救急車が現場到着してから病院が受け入れるまでの時間が19政令指定都市中3年連続ワースト1を記録していて、この解決策として実施したものである。

川崎市南部保健医療圏(*川崎区、幸区、中原区で構成：幸区は全国平均に比し極端に病床が少ないにもかかわらず、他の2区の病床が多いため、病床過剰地域とされ増床ができない)にあって、人口比病床数の谷間になっている川崎市幸区で救急病床のやりくりに苦勞していた我々はこれに応募し、さらに川崎幸病院を支援してもらおうという署名活動を職員で大々的に行った。その結果は、わずか48日間で82,735人(当時の幸区の人口は14.5万人)の署名が集まり大いに驚かされたものである。(当時の記事：<http://saiwaihp.jp/signature/activities.php>)

これには埼玉・東京地区からの職員も大勢応援に駆けつけたものであるが、特筆すべきは我々と連帯して幸区町内会連合会、川崎幸ロータリークラブが我が事のように強力な署名活動を行ったことがこの驚異的な成果につながったのである。また、地域で開業する多くの先

生方(登録医)

の応援も頂き、その結果川崎市が募集した61床は全て川崎幸病院の病床として使用できることになった。

2012年、川崎幸病院新築移転を終えたこの年に我々は健康塾を開始した。



病院がこのような活動を行うことは一般的にマーケティング活動と呼ばれている。しかし我々の一番の動機は、こうした地域住民からの応援に対し地域貢献でお返しすることで、地域との連帯の「きずな」を永続的なものにしようと考えたことを忘れてはならない。その意味で、健康塾では登録医の先生たちにも講師として加わってもらっている。これは他にはない特色である。そしてこうした我々の姿勢こそが、さらなる地域住民の共感を呼び今日の盛会を実現させたものであると確信している。

第二次狭山事件と呼ばれた日々を経て

翻って、埼玉石心会病院である。1987年の病院（当初は狭山病院）開院の前年、右翼団体の街宣車が10数台「石心会病院開設反対」を叫んで市内を連日練り回り、行政当局もこれに呼応するかのような非協力ぶりの中で、病院の開院そのものが危ぶまれた。新聞の埼玉版は各紙トップ記事でこれを報道し、その騒動の大きさから巷では第二次狭山事件とさえささやかれた。そうした事態の中で、無事に開院にこぎつけたのは圧倒的多数の地域住民の熱烈な支持があったからである。

埼玉石心会病院その後の28年間の

歩みは、こうした地域の期待に真剣に応えようとする歩みであったと言える。そしてこの連帯の歴史は、職員と地域住民相互の精神の中にDNAとなって脈々として根付き、活発な健康塾活動に発展するマグマを生んでいるのではないかと私にはその様に思えてならない。

こうした2つの地域の、住民運動の中で生まれた2つの施設群は、その地域との連帯を忘れずに地域に貢献する気持ちを持ち続ける必要がある。

これから、わがグループは創業以来の最大の事業として平成29年の埼玉石心会病院の新築移転を迎えるが、我々がこうした精神を大切にするならばきっと事業は大成を収めるものと確信をしている。



2014年5月17日「かわさき幸・血管フォーラム」(かわさき健康塾)



2015年7月14日、加藤千尋助産師（石心会健康塾）

座談会 健康塾は地域医療のかなめ

開催3年でそれぞれ5万人を突破

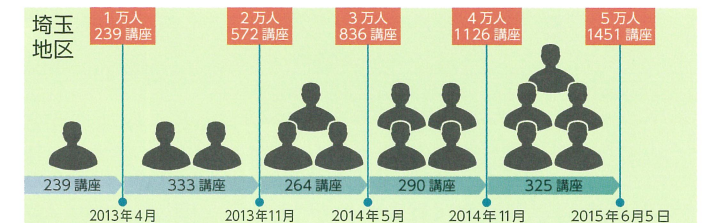
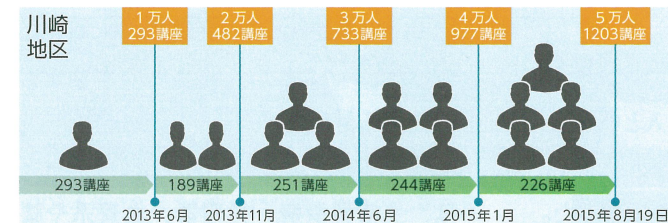
出席（五十音順）

小川宏行・埼玉石心会病院地域医療推進室室長

紀平浩幸・川崎幸病院戦略広報室室長

高橋和敏・川崎幸病院総務部

鍋島紋子・本部事務局地域医療推進室室長



健康塾への伏線

高橋和敏 2011年に、川崎市南部医療圏で余っている病床を獲得し、急性期医療に振り向けて行こうという川崎幸病院のムーブメントがありました。街頭に出て直接に署名活動まで行いました。署名活動は7月23日に開始し、約40日後の10月3日時点で、8万2,735人の署名をいただきました。

当初は目標を2万人としましたが、そんなじゃ駄目だという話になって、5万人の目標に変えました。結果は目標をはるかに超えました。事務長は、「10万まで行かなかったのが残念だ」と言っていますが。

署名活動にあたって、始めは嫌がっていた人が多かったのですが、反響がすごかったので、皆自信を持つてようになりました。

僕は旗を振って、「ベッドが足りません」と叫んでいたのですが、そうしたら「ベッドが足りなければ、買えばいいじゃない」と言われました。石心会にお金がないから、市からお金を貰うように運動していること誤解されたのですね。初めはそんな風に受け取られていました。地元の皆さんと直に付き合えたと思います。

小川宏行 私も署名活動に参加しましたが、とてもいい街頭での経験になりました。

あの経験があったから、石心会健康塾スタート時にチラシ撒きをやろうと思いつきました。初めは、恥ずかしかったのですが、「石心会」というと皆さん受け取ってくれました。地域住民の皆さんにしっかり石心会の名前が浸透しているのだと感じました。

健康塾の開催まで

ひと月に45講座を開く

紀平浩幸 かわさき健康塾は2012年10月に始めましたね。



鍋島紋子 準備を開始したのは7月でした。

高橋 それまで地域連携室を中心に、1か月に1、2回健康講座をやっていたのですが、開催数がまるで違いました。こんな回数で開催するのは初めてで、町内会連合会などに協力を求めて回りはじめました。町内会もこうした取組みは、初めてだったのです。やってほしいが会場の問題など、課題がいろいろあって、町内会だけでは埋まりませんでした。そ

れで、全面的にこちらで展開しようの方針が出て、今の形になりました。準備段階の頃から思い出すと、よくぞここまで来たという感じがします。

鍋島 9月から始める予定でしたが、間に合わず10月にずれ込みましたね。



高橋 その10月のスケジュールを見ると45講座を開いています。最初から45講座を開催していましたから、すごい数です。

鍋島 町内会以外の集客が読めませんでした。どのくらい告知すればいいのか、判断材料がありませんでしたので、最初は新聞の折り込みチラシを18万部ほど行っていました。

直接触れあうことの大切さ

紀平 初期の頃は、出渡る医師がいましたが、今ではほとんどのドクターに話してもらっています。笹栗志朗院長が、地域の皆さんに話しをするのは医師の仕事だと言って、臨床研修医にも今の内からやっておきなさいとの指示がありました。

高橋 たしかに話すのを嫌がる先生もいました。しかし、今では石心会文化として健康塾が定着しましたから、そんなことは全くなりませんでしたね。



小川 埼玉でも嫌がった先生がいましたが、その後「何で出してくれないのか」と、自分から「出たい」と申し出る先生もいました。

新規患者さんを増やしたい科は、チームで積極的に登壇いただきました。健康塾で話すと、患者さんが増えるからです。

継続こそが命

果たして継続できるか

小川 塾が始まった頃、近隣医療機関から「絶対に続かない」と何度も言われました。「3か月間でも続ければ、大したもんだ」とも。



鍋島 確かにこの規模で続けることは大変なことです。だんだん出来るという自信を持ちはじめました。「大したもの」が実現できたのですね。

思わぬ事故

高橋 鍋島さんが担当していたとき、塾の最中に倒れた方がいて、救急車で搬送したことがありましたね。

鍋島 あれは衝撃でした。現場ではこんなこともあるという出来事でした。

小川 その経験から、埼玉では看護部

に協力してもらい必ず看護師さんに同行してもらい、そういう緊急事態に備えています。同時に看護師の皆さんには講演後、毎回会看護相談を行ってもらい、その中から大動脈弁閉鎖不全症、不安定狭心症などが見つかり手術につながりました。この8月までに3,250件もの相談がありました。

参加者ゼロの恐怖

紀平 参加者が2人、3人ということがありました。

小川 うちの1人のときがありました。

紀平 さすがにゼロはありません。予約はいらず、誰もが参加できる塾なので、ゼロというリスクは必ずあります。台風が来ている時、しかも夜に開催をしたことがあります。ゼロを覚悟しましたが、2人の方が来られ、その方々には頭を下げまわりました。フォーラムを大雪の次の日に開催したこともありましたが、それでも2、30人来ていただきました。

小川 埼玉でも大雪の時がありました。さすがにどなたも来ないと思いましたが、そうしたら十何人の方が来られました。塾は蓋を開けてみなければ分かりません。

参加者が少ないと怒った講師

紀平 初めの頃は、そういう先生もいました。しかし回を重ねるうちになくなりました。「少ない方が打ち解けて話せていい、1人でも2人でも私は行きますよ」と言う医師がいました。力づけられました。

実はきょうの塾でも、緊急オペのため講師を入れ替わってもらいました。

1度に2つの講座を開きますので、片方の講師が気を利かせてくれて、別の話でカバーしてくれたり、テレビで放映された幸病院の番組を流したりして、待っていただくこともあります。

共通する興味のあるテーマ

小川 過去人気があったテーマのランキングでは、第1位は「狭心症・心筋梗

塞の治療と予防」が246人。2位は「減塩のすすめ」で、190人。3位は「骨粗しょう症」で141人でした。

紀平 246人も収容できる会場がよくありましたね。

小川 丸広百貨店入間店の7階「さくら草ホール」、定員が250人のところで開催しました。百貨店の入店率が前年比で110%上がり、売り上げアップにもつながったということで、川越市の本店でも開催する計画です。

紀平 川崎では、100人を超えるテーマは、生活習慣病、循環器、血管系や腰痛や膝痛などですが、メンタル系の稲富先生の講座が特徴的です。これには、いつもの参加者よりもう少し若い層の方が参加されます。

地域社会と健康塾

医療連携を重視

紀平 私自身が話すことがありますが、「病院の上手なかかり方」と言うテーマで、かかりつけの先生を見つけましょうということになります。いきなり大病院に行くより、家族皆でお付き合いできて、何かあれば適確なアドバイスをもらい、必要なら適切な医療機関を紹介してもらえます。登録医の先生も月に10人近く話して頂きますので、気になる先生がいたら、健康塾に聞きにきて下さいと勧めます。地域連携、病診連携をいつも説明します。



2014年10月24日、村田健・総合内科副部長（石心会健康塾）



2015年6月13日「整形外科フォーラム」

小川 埼玉では、健康塾に登録医のリーフレットを並べています。場合によっては登録医を紹介します。

学校教育関連での健康塾も特徴の一つです。平成25年に埼玉県はがん条例を制定しました。子どもへのがんに関する教育をしようということで、当院は埼玉県からがん診療指定病院に指定されているため、教育委員会と連携して小・中学校で講義しています。教職員向けにエビデン講演も多数行っています。

紀平 川崎でも学校での健康塾はありますが、埼玉ほど数多くは開いていません。

運営していると、地域に密着していることをすごく感じます。地域医療ではこうした膝付き合わせた塾でコミュニケーションが図れます。

地域コミュニティの中心に

小川 健康塾は高齢者のコミュニティの場にもなっています。

紀平 講演を聞きに来て友だちもでき、終わってちょっとお茶でもというコミュニケーションの場になっています。

小川 引きこもりにならなくていいですね。狭山市、狭山市医師会では、在宅

医療の新しいシステムづくりに入っています。在宅医療についての啓発活動を健康塾を活用していくことを考えています。特に独居の方が多くいますから。

紀平 川崎も独居の方が非常に多く、在宅部門の皆さんにも登壇をお願いしています。また在宅部門独自でも講演会を開いています。地域のニーズがありますね。

小川 埼玉石心会病院のまわりには、サ高住がどんどん建っています。大きな変化の前兆かもしれません。

紀平 サ高住はすごい勢いでできています。川崎市の南部はあまりできていませんが、新百合ヶ丘あたりは多くなっていますよ。

高橋 「2025年問題」は、すでに各地に変化をもたらしている感じです。都市部、あるいは都市周辺部の高齢者医療のシステムも変わっていき、健康塾もそれに対応しなければなりませんね。



かわさき健康塾



2015年
10月

開催スケジュール

定員になり次第受付終了とさせていただきます。
川崎市以外にお住まいの方もご参加いただけます。

地域の皆様が病氣や医療について知識を深め、健康維持・増進、疾病の早期発見・早期治療に役立てていただけるよう、医学公開講座「かわさき健康塾」を開催しています。
かわさき健康塾は、2014年5月に神奈川県「未病を治すかながわ宣言」の協力企業取組活動として登録されました。

社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

お申込み不要 参加費無料

一般講座 (どなたでも参加いただけます。)				
開催日	時間	テーマ	講師	開催場所(定員)
5月	14:00 16:00	先進認知症の理解と入門 【事前申込制 60名様】 申込締め切り日/定員になり次第終了 申込方法/市市民館に寄付 または電話(044-541-3910)	川崎幸クリニック 院長 杉山孝博	幸市民館 1階 大会議室 (事前申込制60人)
6月	13:30 14:00	頭痛の話	第二川崎幸クリニック 脳神経外科部長 安江正治	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (50人)
	14:00 14:45	ほんとはこわーい脱腸(そけいヘルニア)のお話 ～診断から最新の治療まで～	外科医師 消化器センター 小根山正貴	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (50人)
	14:45 15:30	介護が必要な方に どんな病院・施設があるの?	社会福祉士 医療福祉科 松田悠史	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (50人)
7月	14:00 14:45	CTで診るあなたのお腹 ～こんな病気がわかります～	放射線診断医 放射線科部長 信澤 宏	川崎日進町ビルディング 6階川崎クリニック 会議室(50人)
	14:45 15:30	けが・病氣、 こんな時どうすればいいか?	外科医師 救急・総合診療部長 外科部長 後藤 学	川崎日進町ビルディング 6階川崎クリニック 会議室(50人)
8月	14:00 14:45	脳卒中 ～脳卒中の最新治療～	脳神経外科医師 脳卒中センター/部長 永尾征弘	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (50人)
	14:45 15:30	肺がんを病く	IVF科医師 呼吸器センター/部長 長谷聡一郎	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (50人)
9月	14:00 14:45	なぜ慢性腎臓病が 注目されているのでしょうか	腎臓内科医師 腎臓内科部長 宇田 晋	川崎日進町ビルディング 6階川崎クリニック 会議室(50人)
	14:45 15:30	LDLコレステロールを下げる 血液浄化療法	臨床工学技士 C型肝炎診療/主任 長澤建一郎	川崎日進町ビルディング 6階川崎クリニック 会議室(50人)
14月	14:00 14:45	胃潰瘍・十二指腸潰瘍について	消化器内科医師 消化器センター 十倉淳紀	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (50人)
	14:45 15:30	第二川崎幸クリニックの紹介	第二川崎幸クリニック 看護部/看護科/科長 山口恵子	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (50人)
16月	14:00 14:45	胸痛を感じたら… ～狭心症について～	循環器内科医師 心臓センター 佐々木法常	ミューザ川崎 シンフォニーホール 4階研修室1+2+3(81人)
	14:45 15:30	高精度放射線治療機 Elekta Synergyの実力	放射線治療師 放射線科部長 仙田 学	ミューザ川崎 シンフォニーホール 4階研修室1+2+3(81人)
19月	14:00 14:45	血圧の話 ～高血圧について知ろう!!～	循環器内科医師 循環器センター/部長 循環器内科部長 福永 博	川崎市産業振興会館 9階第3研修室A・B室 (99人)
	14:45 15:30	整形外科・形成外科 病棟の紹介	整形外科/科長 伊藤政子	川崎市産業振興会館 9階第3研修室A・B室 (99人)
21月	14:00 14:45	自分にあった 歯科医院の選び方	医療法人RAISE デンタルクリニック 院長 村元良隆	ソリッドスクエア西館1階 2階会議室(63人)
26月	14:00 14:45	腰痛のおはなし ～良い腰痛、悪い腰痛～	医療法人社団 聖寿会 整形外科/科長 馬嶋正和	ミューザ川崎 シンフォニーホール 4階研修室1+2+3(81人)

28月	14:00 14:45	正しい歯磨き できていますか? ～歯科衛生士が教える歯ブラシのしかた完全版～	医療法人RAISE デンタルクリニック 歯科衛生士 安彦 尚香 石田亜美	ミューザ川崎 シンフォニーホール 4階研修室1+2+3(81人)
29月	14:00 14:45	やさしい放射線治療の話 ～前立腺がんについて～	放射線治療師 放射線科部長 田中 良明	川崎市産業振興会館 9階第3研修室A・B室 (99人)
	14:45 15:30	目指せ!おやつ名人 ～ダイエット中の上手な間食のとりかた～	管理栄養士 栄養士 若林 奈々	川崎市産業振興会館 9階第3研修室A・B室 (99人)

■ 平日 ■ 土曜日 ■ 特別講演日

かわさき健康塾3周年記念講座 (どなたでも参加いただけます。)				
開催日	時間	テーマ	講師	開催場所(定員)
2月	14:00 14:45	第二川崎幸クリニックの 現状と今後の展開について ～時代を見据えたより良い医療の提供を目指し～	第二川崎幸クリニック 院長 関川 浩司	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (70人)
	14:45 15:30	川崎幸病院の過去と未来 ～No Refusal Policy (断らない医療)の精神～	川崎幸病院 院長 笹葉 志朗	第二川崎幸クリニック 3階会議室 (70人)

出張講座 (主催団体の方たち限定となります。)				
開催日	時間	テーマ	講師	主催団体
1月		生活習慣病予防について	内科医師 副院長/内科顧問 沢 丞	J X 日能石エネルギー 株式会社 川崎製造所
5月		腰痛、肩こりの話	整形外科医師 院長/整形外科部長 原 淳	日産自動車健康保険組合 本社地区健康推進センター
7月		生活習慣病予防について	内科医師 副院長/内科顧問 沢 丞	プレス工業株式会社 藤沢工場
13月		筋力UPで怪我予防と若返り	医療法人 聖和会 野矢整形外科/内科部長 野末 洋 清水京子	プレス工業株式会社 本社・川崎工場
14月		生活習慣病予防について	内科医師 副院長/内科顧問 沢 丞	プレス工業株式会社 横浜事務所
21月		生活習慣病について ～外食・お酒との付き合い方。前回の早食いの復習も～	内科医師 副院長/内科顧問 沢 丞	日産自動車健康保険組合 本社地区健康推進センター
22月		知っておきたい血糖のホント ～食生活のヒントを中心に～	内科医師 副院長/内科顧問 沢 丞	キャンノ株式会社 矢向事業所
24月		高齢者の糖尿病について知ろう ～糖尿病のうそ?ほんと?～	糖尿病看護認定看護師 看護部 原田 浩見	ベネッセスタイルケア
26月		今すぐできる! ロコモチェックと肩こり体操	管理栄養士 リハビリテーション科/科長 手塚 純一	日産自動車健康保険組合 本社地区健康推進センター
30月		子育て中のストレスについて	川崎幸クリニック 臨床心理士 池見麻里子	子育て支援センター での

【企業・町内会等、各種団体への「出張講座」を無料で承ります。】～まずはお気軽にご相談ください～
※ご希望日の3か月前を目安にご連絡ください。※内容によってはご希望に添えない場合もございます。予めご了承ください。

●主催団体への直接のお問い合わせはご遠慮ください。 ●2講演目以降の参加をご希望の方は、開始時間5分前を目安にお越しください。



私たち川崎幸病院は、神奈川県が推進するME-BYO(未病)の普及活動に賛同します。ME-BYOとは、「健康と病気を2つの明確に分けられる概念として捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、このすべての変化する過程を表す概念」です。

※講演テーマ・講師は予告なく変更になる場合もあるため、
最新の情報は川崎幸病院ホームページhttp://saiwaihp.jp/ でご確認ください。

かわさき健康塾についてのお問い合わせ先：TEL.044-542-7007



石心会健康塾

参加無料
定員あり

狭山市会場 (どなたでも参加できます)

日曜日	時間	テーマ	講師	会場
1月	14:30-15:00	魚介類(サケ、サバ、アジ等)から感染する アニサキス感染とは?	臨床検査技師 小林保彦	①
	15:00-15:30	探血のあれこれ ～安心して探血を受けて頂くために～	臨床検査技師 小倉千明	①
8月	14:30-15:00	寒い時期の脳血管障害の予防	看護部科長 高橋 順	①
	15:00-15:30	安心して内視鏡の検査を受けて頂くために～	看護部主任 武久恵美	①
9月	14:30-15:00	認知症を予防する～気になる食事、おすすめレシピ～	管理栄養士 大川 清	①
	15:00-15:30	認知症高齢者をささえるよりよい介護とは	認知症看護認定看護師 白濱朋子	①
14月	14:30-15:00	足の動脈硬化のお話	循環器科 黒木崇文	②
	15:00-15:30	～あなたの大切な足を守るために～ 心臓カテーテル検査について～入院から退院まで～	臨床工学技士 荒川幸輝	②
15月	14:30-15:00	良いホクロ・悪いホクロ～その見分け方～	形成外科部長 工藤 聡	①
	15:00-15:30	【先着15名様ホクロの無料チェック実施】 冬の乾燥からお肌を守るスキンケア	皮膚・排泄ケア認定看護師 森崎紀代美	①
19月	14:30-15:00	いつまでも自宅で入浴を!	特別看護老人ホームオリブ	①
	15:00-15:30	～安全・安心・楽々に出る入浴介助 基本の"き"①～	介護福祉士 石井隆之	①
21月	14:30-15:00	【出張糖尿病教室】 油の給油率について～揚げ物の油の量知っていますか?	管理栄養士 蒲池祐子	①
	15:00-15:30	糖尿病性腎症を悪化させないためにできること	看護部主任 横田順子	①
22月	14:30-15:00	骨粗しょう症について知ろう! (治療編)	整形外科顧問 野本 栄	①
	15:00-15:30	世界標準の骨密度検査機器「骨密度DXA法の話」	診療放射線技師 高岡芳徳	①
26月	14:30-15:00	もし、急に背中や胸が痛くなったら?	心臓血管外科副部長 ～急性大動脈解離かも!?～	①
	15:00-15:30	動脈硬化の危険因子～悪玉・善玉コレステロール検査の見方	臨床検査技師 安藤恭代	①
27月	13:00-14:15	低力ロリーデザート ～秋の食材編～	調理師 赤岩秀治 管理栄養士 大川 清、横山恭子	③
		【狭山市中央公民館 連絡先04-2952-2230】 受付期間:9月29日(火)～10月16日(金) 時間帯:月～土曜日 8時30分～17時15分		
28月	14:30-15:00	貧血について正しく学ぼう!	看護部 岡野 綾	①
	15:00-15:30	気になる便秘の話～あなたに合ったお薬は?～	薬剤師 村田 倫	①
29月	14:30-15:00	不整脈の中の「心房細動」	循環器科 入江寿光	①
	15:00-15:30	～胸のドキドキが気になる方へ～	臨床工学技士 阿部勇也	①
30月	14:30-15:00	カテーテルアブレーション治療とは?	循環器科 入江寿光	①
	15:00-15:30	～心臓がドキドキしたら～	整形外科副部長 山田哲也	①
		手の痛み～腱鞘炎、捻挫、関節症を中心に～	整形外科副部長 山田哲也	①
		もしかして手根管症候群?しびれの原因を調べる検査法	臨床検査技師 福土茉莉	①

講演会場
① 狭山市産業労働センター 2階 異業種交流スペース 66名
② 狭山市市民センター 研修室 50名
③ 狭山市市民交流センター 3階 調理実習室 22名

出前講座 (どなたでも参加できます)

開催日	時間	テーマ	講師	主催団体 (敬称略)
2月	10:00-10:30 10:30-11:00	減塩のすすめ! パート2～平成25年国民栄養調査からわかること～ ジェネリック医薬品ってどんなお薬?	管理栄養士 大川 清 薬剤師 卯月博和	社会福祉協議会入管支部 入管公民館 ホール 100名
7月	13:00-13:30 13:30-14:00	動脈硬化を心配する方へ～簡単にわかる検査方法とは～ 肩 痛みなくバンザイできますか?～簡単にできるストレッチ～	臨床検査技師 藤山真由美 ※抽選にて15名様 血管年齢検査実施 作業療法士 片岡良子	老人福祉センター不老荘 ※狭山市・入管市在住65歳以上の方
20月	14:00-14:30 14:30-15:00	肺炎球菌ワクチンのお話～高齢者の肺炎は要注意!～ 気をつけよう! 肺炎～うつる肺炎、うつらない肺炎～	総合内科副部長 村田 健 看護部科長 佐々木文子	入管市老人福祉センターやまゆり荘 ※65歳以上入管市・狭山市・所沢市・ 飯能市在住の方 お問い合わせ: 04-2934-5315
27月	14:00-14:45 14:45-15:15	心不全からあなたを守る～知って治して予防しよう!～ 動脈硬化を心配する方へ～簡単にわかる検査方法とは～	循環器科副部長 荒巻和彦 臨床検査技師 藤山真由美	サイボクハム 天然温泉「花鳥風月」 特設会場

出張講演 (主催団体の方限定となります)

開催日	時間	テーマ	講師	主催団体 (敬称略)
6月	14:00-15:00	減塩&コレステロールを下げる～気になる食事、おすすめレシピ～	管理栄養士 大川 清	水野実業大学
9月	13:00-14:00	胸痛! !もしかして? 狭心症・心筋梗塞	臨床工学技士 守田孝志	プレス工業埼玉工場

※テーマ、講師は都合により変更となる場合があります。

お問い合わせ：埼玉石心会病院 管理室
04-2953-0909 狭山市鶴ノ木 1-33
平日 9:00～17:00

埼玉石心会病院
さやま総合クリニック
4階健診センター
さやま腎クリニック
地域ケアセンター
http://www.saitama-sekishinkai.jp/
http://www.sekishinkai-sayama-cl.jp/
http://www.sayama-doc.jp/
http://www.sekishinkai-sayama-jin.jp/



神奈川地区 かわさき健康塾の概要とこれから

紀平浩幸 川崎幸病院戦略広報室室長

2012 年 10 月に始まったかわさき健康塾は 8 月で延べ来場者 5 万人を超え、10 月で丸 3 年を迎えた。川崎幸病院が新築移転したことを機に、地元の皆さんに病気について正しい知識を知ってもらうために開催されている。埼玉地区の石心会健康塾が多彩な展開を見せているように、かわさき健康塾でも地元川崎市の地域特性を反映しながら運営している。

これまでの実績

・講演数

1,221 講座（2012 年 10 月～ 15 年 8 月）

出張講座数：239 回

登録医・連携病院等の登壇者：延べ 175 人

開催場所：公共施設、出張講演・出前講座などは地域の団体や企業の希望会場で行う

・延べ参加者数

51,108 人（2012 年 10 月～ 15 年 8 月）

※ 1 講座平均 41 人参加

参加者の内訳：男女比は女性が少し多い。年齢は 70 歳代後半。

勤めを引退し、平日の日中帯に時間が自由になる健康な高齢者が多い

成果

・出張講座の拡充

地域・企業との連携強化

出張講座数：239 講座

多い月で 10 講座以上の開催

400 人以上の大規模講演から 10 人前後での小規模講演も多数

・地域町内会、団体向けの講演

幸区、川崎区等の各町内会、老人クラブ連合会などで開催し、地域との良好なコミュニケーションを形成

・エリアの拡大

東京都大田区、川崎市中原区・宮前区・麻生区などの団体からもリピート

川崎駅周辺の大型マンション居住者向けの講演

ラゾーナ川崎レジデンス、ミレナリータワーズ塚越など

企業向けの講演

神奈川県の後押し（黒岩知事の“未病を治すかながわ宣言”）もあって急速に増加

企業産業医や保健師とのコミュニケーションも円滑になり、その結果病診連携に繋がっている

川崎市の地場産業から日本有数の大企業まで

キヤノン、東芝、日産、DELL などのほか、川崎幸病院周辺のみでなく、横浜駅（日産）、浜松町駅（東芝）、鈴木町駅（味の素）でも開催

官公庁職員に向けて

川崎警察、幸警察

健保組合主催での加入企業への講演
神奈川県機器健保組合

PSA 予約を含む講演

キヤノン矢向で講演後の PSA 予約会（川崎幸クリニック）を実施。70 名の参加、PSA 受診予約 40 名の成果

・バラエティに富んだ講師陣

院内スタッフでは医師、看護師（認定）、各コメディカル、MSW、医務課、

広報室、診療情報管理室 ほぼ全職種

石心会神奈川地区他事業所スタッフ

川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニック、第二川崎幸クリニック、アルファメディッククリニック、在宅部門、新緑脳神経外科
地域の連携開業医・病院・保健薬局スタッフ

川崎市北部の出張講座には麻生リハビリテーション病院の講師が登壇対応

・市民公開講座開催の充実

診療科 PR との連動

川崎幸病院主力診療科分野をテーマに大会場で年間 4 回程度

がん、血管、整形等

新設診療科の PR に繋げる

血管外科や婦人科の立ち上げと連動

血管外科フォーラム終了後、下肢静脈瘤レーザー治療件数が飛躍的に向上

・各種イベントの開催

「体験・笑い・感動」をテーマに健康塾の枠を超えた企画

料理教室：年間 4 回の実施、保健薬局管理栄養士や東京ガスとのタイアップも

キッズ外科手術セミナー：毎年 8 月の実施 京急観光とのタイアップも
落語家とのコラボ：らく朝との大腸がん講座

声楽家による歌と講座：健康と音楽の融合



2015 年 9 月 2 日、伊藤賀敏・循環器内科副部長



（同）AED の使い方を覚える

川崎西口商店会さくら祭り：幸区民祭で無料検査ブースの出展、骨密度や血管年齢の測定

・新設事業所会場での開催

新設事業所の PR を兼ねる

川崎クリニック：月間 4、5 日実施

オープン当初から、場所を知ってもらうために人気のある整形外科講座を多数実施し、来院増につなぐ

第二川崎幸クリニック：月間 4、5 回実施

専門外来医師（ポトックス外来・頭痛外来など）の講演

待合モニターに健康塾のスライドを掲示予定

さいわい鹿島田クリニック

ルリエ川崎内にて実施、健診などの PR に

・各事業所の外来総数の増加

基本的に各クリニックは右肩上がりとなっている

【川崎幸クリニック】

2011 年度

292,591 人（新患 9,476 人）

2012 年度

309,116 人（新患 11,297 人）

2013 年度

319,353 人（新患 10,991 人）

2014 年度

333,235 人（新患 10,890 人）

【川崎クリニック】

2013 年度

12,405 人（新患 575 人）

2014 年度

31,074 人（新患 1,028 人）

【さいわい鹿島田クリニック】

2011 年度

41,759 人（新患 4,296 人）

2012 年度

48,088 人（新患 3,343 人）

2013 年度

48,471 人（新患 3,176 人）

2014 年度

49,639 人（新患 3,224 人）

・タイアップ企業の拡大

京急観光、東京ガス、ベネッセなど、健康塾をきっかけに地域に広報媒体をもつ企業とネットワークができ、京急グループとは特に良好な関係を

これから

小規模（10 名程度）でも地域との交流を大事にした出張講座の継続

病診連携、病病連携を見据えた開業医、連携病院、保健薬局等の講座の継続

「健康経営（従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指す経営手法）」に力を入れている企業とのさらなる連携

企業同士でのコラボ企画

例：キヤノン + 東芝 + 幸HPなど

タイアップ企業の拡大

第二川崎幸クリニック、川崎クリニックの講演枠を増大

富士電機病院の PR



埼玉地区 石心会健康塾の概要と今後

小川宏行 埼玉石心会病院地域医療推進室室長

かわさき健康塾に続いて、1か月遅れでスタートしたが、参加者が5万人を超えたのは、15年6月で、かわさき健康塾より2か月早かった。かわさき健康塾と同様に、他の医療機関が催す医療講座とは比較にならないほどの内容と広がりを見せている。

これまでの実績

・講演数：1,550 講座（2012 年 11 月～15 年 8 月）

出張講演数：310 回

登録医・連携病院等の登壇者：延べ114 人（2012 年 11 月～15 年 8 月）

開催場所：公共施設、出張講演・出前講座など地域の団体や企業の希望会場で行う

・延べ参加者数：53,892 人（2012 年 11 月～15 年 8 月）

参加者の内訳

男女比：男性 36%：女性 64%
年齢層：（65 歳～74 歳）43%、
（75 歳以上）23%、（55 歳～64 歳）22%、（54 歳以下）10%

・参加理由

受診前に医師の人となりを観察する

主治医の講演を聴いて疾患の理解を深める

・参加者の特徴

勤めを引退し、平日の日中帯に時間が自由になる健康意識の高い高齢者が多い

成果

・第 64 回日本病院学会発表
「埼玉石心会病院が地域へ提供する 3 つの健康講座」

・2014 年 9 月、（公）日本医療機能

評価機構の病院機能評価

1.2 地域への情報発信と連携、1.2.3 地域に向けて医療に関する教育・啓発活動の項目で「石心会健康塾」は最高評価「S 評価」に

・無料健康相談件数（看護相談・講師相談）

3,249 件（8/31 現在）、健康相談から必要に応じてクリニック外来予約
看護部は毎月 10 名登壇、登壇実績約 90 名

・医療機関らしいテーマの調理実習（減塩食、糖尿病食、腎臓病食など）
33 回実施（8/31 現在）

・入間地区医師会とのコラボ企画

・狭山市中央公民館との定期的なコラボ企画

・入間ガス「スマイルキッチン」との定期的なコラボ企画

・ケーブルテレビ収録本数

356 本（狭山 228 本、入間 128 本）
2013 年 4 月より放送が開始し、仕事などで参加できない方が視聴

・外来患者の増加

埼玉エリアの外来患者数の推移は、健康塾開始前から外来患者数の推移を見てみると右肩上がりになっている。

・学校（保育所・小学校・中学校・高

等学校）へのお出張講演数

55 回（2013.8 月～2015.8 月）

・2014 年 6 月 14 日「こども版医学公開講座」を大規模会場で開催

・地域団体とのコミュニケーション

自治会、老人会、社協、医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域包括支援センターなどと健康塾の開催を通じてコミュニケーションをとることができ、病院との良好な関係を構築

・地域企業・地域団体と定期的にコラボすることで相乗効果

丸広百貨店入間店、サイボクハム天然温泉花鳥風月、老人福祉センター：狭山市（3 施設）入間市（1 施設）、狭山市総合子育て支援センター、入間市宮寺・二本木地域包括支援センターなど

・連携医療機関シリーズ

（看護部長・大腿骨頸部骨折連携パス先・脳卒中連携パス先）

連携医療機関の看護部長が登壇し、連携先回復期リハビリ病院会場で健康塾を開催

・県が推進する健康長寿プロジェクトの共催

健康塾を狭山市保健センターと開催し、センターの保健師が登壇

・人気があったテーマのランキング

第 1 位：中高年の狭心症・心筋梗塞の治療と予防（246 人）

第 2 位：減塩のすすめ！～2015 年国民栄養調査からわかること～



2014 年 2 月 17 日、小倉弥生薬剤師

（190 人）

第 3 位：骨粗しょう症について知ましょう！（141 人）

第 4 位：大切な人が治らないがんといわれた時（131 人）

第 5 位：あなたの膝（ひざ）・股関節の痛みについて（124 人）

第 6 位：生活習慣病と心臓～これでもいいのか高血圧、コレステロール、糖尿病～（104 人）

第 7 位：筋力アップで転倒予防 ～腸腰筋 大腿四頭筋を鍛えよう～（89 人）

第 8 位：血管年齢を若く保つコツとは？～動脈硬化症の予防～（84 人）

第 9 位：知っておきたい。聞いておきたい。がんにかんするいくつかのこと。（81 人）

第 9 位：これで安心！足の血行促進～下肢静脈瘤、静脈血栓症の予防～（81 人）

これからの展望

・新病院移転に向けて埼玉石心会病院のブランド力を高める

様々なチャンネル（インターネット、新聞、TV、ラジオ、タウン誌、自治会掲示板、回覧、コラボ先など）を使い、認知度を高める

・石心会健康塾の質の向上

マンネリ防止のため、常に新シリーズを企画

・新規エリア・新規会場を開拓

地元企業や地域の団体と定期的な講演開催を提案し、新規エリア・新規会

場を開拓し、認知度を高める

・2020 年東京オリンピックゴルフ会場（霞ヶ関カンツリー）に出張講演を提案

現在もプレー中のゴルファーが、胸痛（心筋梗塞）発症時の受入指定機関

2016年度の臨床研修医 採用状況

川崎幸病院

臨床研修医の定員は6人。これに対して問い合わせ数は50人で、病院見学に来た来年の卒業予定者46人でした。実際の応募数は28人で、応募者全員とマッチングのための面接を行いました。採用の予定数は6人です。

2015年度は4人の採用でしたが、臨床研修を強化するため臨床研修センター（太田竜センター長）を設立し、採用のための広報活動を展開して、今回の28人の応募という成果をあげています。

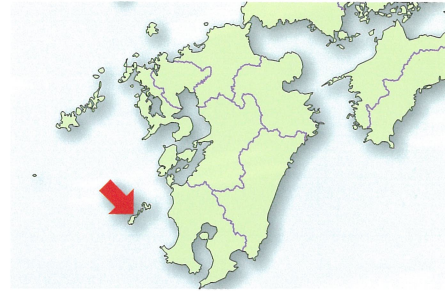
紀平浩幸・戦略広報室長・医師採用担当
h-kihira@saiwaihp.jp

埼玉石心会病院

埼玉石心会病院の定員も6人。応募の問い合わせ数は36人で、来年卒業予定者の病院への見学数も同じく36人でした。応募者は9人で、全員と面接を行いました。採用予定は、フルマッチの6人です。

昨年と比べて、応募者数が2人減りました。2017年度から始まる新専門医制度への移行によって、医学生たちは後期研修先を見ずして研修病院の選定を考えはじめています。

若松裕二・医師採用担当
yuji-wakamatsu@saitama-sekishinkai.org



下甕手打診療所

にたどり着きます。長浜港には、診療所長でDr. コトーのモデルとなった瀬戸上健二郎先生が出迎えてくれました。

手打診療所は鉄筋コンクリート2階建ての立派な施設でした。常勤医1名、看護師12名、事務4名で、病床数19床、主な医療機器としてX線CT装置、X線透視撮影装置、X線画像デジタル化処理装置、電子内視鏡、超音波、人工透析、遠隔読影システム等があり、一般診療には十分な設備がありました。

臨床研修医の受け入れは、鹿児島大学、沖縄県浦添総合病院など九州沖縄地区のみならず、宇部興産中央病院、聖路加国際病院、慈恵医科大学などからも派遣されていました。

現在、島での診療はプライマリーケアを主として、重症患者は船舶やヘリによる搬送が行われていました。2014年度の救急患者島外搬送は29件あり、船舶19件、ヘリコプター10件とのことでした。

当院は2016年1月から臨床研修医を派遣する予定です。都市圏と異なる医療環境で、生涯役に立つ貴重な地域医療経験ができると思っています。

太田竜・川崎幸病院消化器病センター外科／臨床研修センター長
r-ohta@saiwaihp.jp

臨床研修センター

臨床研修カンファレンスを開始

川崎幸病院の臨床研修センター（太田竜センター長）では、すぐれた研修医の養成を目指して「臨床研修カンファレンス」を実施しています。

第1回目が6月19日（金）川崎幸病院5階の研修医室で開催されました。第1シリーズは、「臨床症候から見たプライマリケアのABC」と題して長尾建・循環器内科顧問／日本大学病院循環器内科教授が週1回で、4回にわたって指導します。



長尾顧問を中心に行われたカンファレンス

第1回の参加者は、青盛恒太・二年次研修医、栗田裕治、中島勇一、和田真弥・一年次研修医と長尾建顧問、太

川崎幸病院看護部

新人オリエンテーション

看護の質の向上、医療安全の確保、早期離職防止の観点から、新人看護職員研修が重要視されています。2010年4月から新人看護職員研修は努力義務となっています。



2015年度の新人看護師たち

今年度は4月6日～5月9日までの約1か月間、研修棟で行い、病院全体で新人看護師を育成するという姿勢で取り組んでいます。

学校で学んだ知識の確認や実技演習、社会人・専門職としての心構え、ストレスマネジメント、メイクアップ講座など研修内容は多岐に渡っています。

研修期間中、数日間は病棟にも行き、看護技術をチェックリストで評価してもらいますが、そこで気付きの機会をもつことになり、学習意欲も向上していきました。

そして1か月間、共に研修を受けることによって、新人看護師たちは同期のつながりが強くなります。研修後、それぞれの病棟に配属になっても、院内に同期がいるというだけで心強いはずです。この仲間同士で、お互い切磋琢磨しながら頑張っていってほしいと思います。

若丸田恵美・川崎幸病院看護部副部長
e-maruta@saiwaihp.jp

第2回 川崎幸病院消化器外科オープンケースカンファレンス

5月22日、「第2回消化器外科オープンケースカンファレンス」（紹介患者症例検討会）を実施しました。登録医の先生方から紹介していただいた患者

さんの治療経過について、報告と治療に対する意見を伺うものです。症例の患者さんを紹介された先生をはじめ、近隣病院の外科の先生方にも参加していただきました。

セッション2では関川外科部長（当時）が「外科2014 そして…」と題し、川崎幸病院だけでなく、7月1日開院の第二川崎幸クリニックを含めた石心会川崎地区のネットワークと今後のビジョンについて話しました。



外科メンバーの紹介

プログラム

・Opening Remarks

後藤学・救急総合診療部部長／外科副部長

・Session1 «症例検討»

司会：成田和広・外科副部長、太田竜・外科副部長

症例1 『上行結腸癌に対して腹腔鏡下回盲部切除術を施行した一例』

演者：左近龍太

（幸区・パークシティクリニックからのご紹介）

症例2 『胆のう腫瘍の二例』

演者：井上貴博

（幸区・三條医院からのご紹介）

症例3 『進行胃癌に対して審査腹腔鏡にて腹膜播種を認めた一例』

演者：網木学

（幸区・橋爪医院からのご紹介）

症例4 『巨大腓体部腫瘍を切除した一例』

演者：中山幹大

・Session 2 «外科2014 そして…」

関川浩司・川崎幸病院副院長／消化器病センター長／外科部長

Closing Remarks

山崎将人・外科副部長

藤田哲也・地域医療連携室長
t-fujita@saiwaihp.jp

埼玉石心会病院

救急隊連携セミナー開催

9月8日、埼玉石心会病院で救急隊連携セミナーを開催しました。同セミナーは、地域救急隊との連携を図り、今後の当院の救急医療を一層充実するために、今年5月からスタートし、今回で2回目の開催です。

セミナーは、前半に当院の医師を中心に救急医療や専門医療について医学的な講義を行い、後半に当院 EMT 科の救急救命士が受け入れした症例を報告して意見交換をしています。

2014年9月から、EMT科の救急救命士が救急隊の収容依頼連絡を受けるようになりました。円滑な患者受け入れを行うためには救急隊と EMT 科との連携がより一層重視されています。

救急隊と病院には資格が同じ救急救命士がいますが、勤務しているフィールドが異なることから、同じ救急患者を診る視線をそろえる機会が必要だと考えました。当初は救急隊向けの講習会という形で実施していたセミナーでしたが、現場と病院でどのような考え方をしているのかを理解するため、症例を通じた議論の場を設けました。

2回のセミナーで、延べ140人の救急隊員が参加して評判も上々です。症例報告でさまざまな問題点を提起して、救急現場と医療現場の懸け橋になるようなセミナーを目指しています。

今後は救急隊にも症例の報告をお願いし、さらに理解を進めて行けるよう計画しています。救急科ではこうした場を通じて、プレホスピタルから病院まで、より円滑な救急医療が実践できるようにしていきます。

西紘一郎・救急科副部長
kouichirou-nishi@saitama-sekishinkai.org

◆川崎幸病院						
学会発表						
診療部						
【国際学会】						
発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
藤川拓也	心臓血管外科	2015.5.11～14	23rd Annual - Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery	Staged use of retrogrda and antegrade cerebral perfusion for total arch replacement：single center experience of 552 patients in six years	Hong Kong	一般・口演
藤川拓也	心臓血管外科	2015.6.17～20	2015VASCUAR Annual meeting	open surgery of Juxtarenal Aortic Aneurysm With LeftThoracoabdominal Approach in the Endovascular Era	Cicago	一般・口演

【全国学会】						
関根裕司	心臓血管外科	2015.6.3～5	第 43 回日本血管外科学会学術総会	胸腹部大動脈瘤に対する再手術の検討	横浜	シンポジウム
大島晋	心臓血管外科	2015.6.3～5	第 43 回日本血管外科学会学術総会	近位下行大動脈から腹部分枝を含む人工血管置換術における助間動脈再建法	横浜	一般・口演
藤川拓也	心臓血管外科	2015.6.3～5	第 43 回日本血管外科学会学術総会	Doctor Car System 導入による A 型急性大動脈解離に対する手術成績の改善：2 年間の 176 例の検討	横浜	一般・口演
河西玲央	心臓血管外科	2015.6.3～5	第 43 回日本血管外科学会学術総会	80 歳以上の高齢者における A 型急性大動脈解離に対する Hemi-arch-replacement を基本とした治療成績	横浜	一般・口演
原 淳	整形外科	2015.6.18～20	第 7 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	ACL 機能不全を伴う 内反型変形性膝関節症に対する開大式行為脛骨骨切り術（OW- HTO）と ACL 同時再建術の治療成績	札幌	一般・口演
瀬戸上智行	整形外科	2015.6.26～27	第 41 回日本骨折治療学会	不安定型大腿骨転子部骨折に対する InterTAN の使用経験	奈良	一般・口演
山寄継敬	循環器内科	2015.7.28～30	第 30 回日本不整脈学会学術大会・日本心電学会学術集会	Focal Left Atrial Tachycardia after Several Atrial Fibrillation Ablation Procedures	京都	一般・口演
山寄継敬	循環器内科	2015.7.17～18	第 21 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	頻発する心房細動により難渋した心臓リハビリテーションにおいてアブレーションが奏功した一例	福岡	ポスター
西村潤一	放射線 IVR 科	2015.7.9～11	第 35 回日本静脈学会総会	大動脈術後に生じた乳び胸、乳び腹水、乳び心嚢液貯留に対するリンパ節注入法によるリンパ管造影	奈良	シンポジウム
西村潤一	放射線 IVR 科	2015.7.24～25	第 21 回日本血管内治療学会総会	大動脈ステントグラフトで治療を行った破裂性腹部大動脈瘤並びに破裂性腸管動脈瘤の反省点	名古屋	シンポジウム
中山幹大	外科	2015.6.20	第 61 回国際外科学会日本部会総会	A surgical case of a huge pancreatic cystic neoplasm with gastrointestinal symptoms	東京	一般・口演
小根山正貴	外科	2015.6.20	第 61 回国際外科学会日本部会総会	The treatment results of Single incisional Totally Extra Preperitoneal repair (STEP) for patients with inguinal hernias in our department	東京	一般・口演
太田 竜	外科	2015.7.15～17	第 70 回日本消化器外科学会	彎曲型腸管クリップおよび J 型ステーブラーを用いた腹腔鏡下直腸切除術における直腸切離の工夫	浜松	一般・口演
小根山正貴	外科	2015.7.15～17	第 70 回日本消化器外科学会	単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術（SingleTEP）における臍切開部の工夫	浜松	一般・口演
中山幹大	外科	2015.7.15～17	第 70 回日本消化器外科学会	当科における大腸癌穿孔の治療現況	浜松	一般・口演
成田和広	外科	2015.7.15～17	第 70 回日本消化器外科学会	当院における大腸癌イレウスの治療戦略	浜松	一般・口演
網木学	外科	2015.7.15～17	第 70 回日本消化器外科学会	腹腔鏡下ヘルニア根治術（TAPP 法）における手技の定型化による手術時間短縮の試み	浜松	一般・口演
中山幹大	外科	2015.6.11～13	第 27 回日本肝胆膵外科学会・学術集会	消化器症状を有する巨大脾漿液性嚢胞腫瘍（Serous cystic neoplasm）の 1 切除例	東京	ポスター
井上貴博	外科	2015.6.11～13	第 27 回日本肝胆膵外科学会・学術集会	後期高齢者の胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の有用性の検討	東京	ポスター
下田陽太	外科	2015.6.11～13	第 27 回日本肝胆膵外科学会・学術集会	非重症急性胆嚢炎に対する治療法別短期成績の検討	東京	ポスター
高橋 剛	内科	2015.6.28	第 60 回日本透析医学会学術集会総会	血液透析患者（HD）における持続血糖モニタリング（CGM）を用いた血糖動態の検討	横浜	一般・口演
青盛恒太	研修医	2015.7.15～17	第 70 回日本消化器外科学会	術後血栓感染が疑われた上腸間静脈血栓症の 1 例	浜松	一般・口演

【地方学会】						
原 淳	整形外科	2015.6.27	第 5 回南共済スポーツ整形外科研究会	われわれの前十字靱帯再建術	横浜	一般・口演
山寄継敬	循環器内科	2015.6.13	第 46 回埼玉不整脈ペーシング研究会	房室結節回帰性頻拍に対するアブレーション後 inappropriate sinus tachycardia を来した 1 例	埼玉	一般・口演
中川達生	放射線 IVR 科	2015.6.25	第 8 回川崎大動脈ステントグラフト研究会	胸部下行大動脈破裂瘤に対する TEVAR 後数時間で再破裂した症例	川崎	一般・口演

長谷聡一郎	放射線 IVR 科	2015.7.3～5	第 81 回日本心臓血管放射線研究会	腹部大動脈瘤破裂に対するステントグラフト術中に腹部コンパートメント症候群を来した症例の画像所見	札幌	一般・口演
長谷聡一郎	放射線 IVR 科	2015.7.18	第 27 回関東 IVR 研究会	胸部大動脈瘤狭窄後大動脈瘤に対してステントグラフト治療を施行した 1 例	品川	一般・口演
不破相勲	放射線 IVR 科	2015.7.18	第 27 回関東 IVR 研究会	A case of intra-aneurysmal embolization for chronic type 1a endoleak,approached from the gap between aneurysmal wall and stentgraft	品川	一般・口演
中川達生	放射線 IVR 科	2015.7.18	第 27 回関東 IVR 研究会	医原性の空腸仮性動脈瘤に対して瘤内 NBCA 塞栓術を施行した IVR 症例	品川	一般・口演
中川達生	放射線 IVR 科	2015.7.18	第 27 回関東 IVR 研究会	経皮経腎的に下大動脈に誤挿入された Thoracic tube（32Fr）を抜去した IVR 症例	品川	一般・口演
不破相勲	放射線 IVR 科	2015.7.25	第 19 回大動脈ステントグラフト研究会	Stanford B 型慢性大動脈瘤解離及び腹部大動脈瘤に対し一期的に TEVAR,EVAR を施行した 1 例	名古屋	一般・口演
小根山正貴	外科	2015.7.4	第 48 回神奈川胃癌治療研究会	4 t h line としての XP+trastuzumab が奏功している S-1 抵抗性大動脈周囲リンパ節再発胃癌の 1 例	横浜	一般・口演
成田和弘	外科	2015.7.31～8.1	第 9 回単孔式内視鏡手術研究会 第 13 回 Needlescopic Surgery Meeting	Multi-channel port と細径鉗子を用いた reduced port surgery	秋田	一般・口演
太田竜	外科	2015.7.3	第 83 回大腸癌研究会	当科における遠隔転移を有する大腸癌手術治療の現状	福岡	ポスター

【講演】						
発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
山本晋	心臓血管外科	2015.6.13	第 11 回 LHC japan heart colloquium	川崎大動脈センターにおける急性大動脈破綻の手術経験	神戸	依頼講演
山崎将人	外科	2015.7.22	第 24 回川崎市中部・消化器カンファランス	当院における肝胆膵外科手術の現況	川崎	依頼講演

コメディカル部						
櫻井裕介	CE 科	2015.6.26～28	第 60 回日本透析医学会学術集会・総会	超音波画像診断装置プローブに対する ATP 測定器を用いた消毒方法の検討	横浜	一般・口演
縮友和	CE 科	2015.7.28～30	第 30 回不整脈学会学術大会	イベント発生からアラート受信までに時間的ずれを生じた遠隔モニタリングの 1 例	京都	ポスター
石川恭資	EMT 科	2015.6.4～6	第 18 回日本臨床救急医学会総会学術集会	川崎幸病院のドクターカーにおける救急救命士の活動と今後の展望	富山	一般・口演
齋藤一樹	放射線科	2015.7.28～31	第 30 回不整脈学会学術大会	心房細動アブレーションの 3Dmapping system における左房抽出時間短縮の検討	京都	一般・口演
手塚純一	リハビリテーション科	2015.6.12～13	第 17 回日本医療マネジメント学会学術総会	リハビリテーション科におけるクリニカルラダーの致達率・乖離率と離職の関連について	大阪	一般・口演
須藤奈津子	リハビリテーション科	2015.6.26～28	第 16 回日本語聴覚学会	川崎大動脈センターにおける心臓血管外科術後の Voice Handicap Index の検討	宮城	一般・口演
浅田浩明	リハビリテーション科	2015.7.18～19	第 21 回日本心臓リハビリテーション学会	80 歳以上の高齢者における胸部大動脈手術前後の身体機能ならびに ADL 状況に関する検討	福岡	一般・口演
金子奈央	リハビリテーション科	2015.7.18～19	第 21 回日本心臓リハビリテーション学会	急性心不全患者の活動度変化と在院日数に関する研究	福岡	一般・口演

看護部						
杉山ゆみ子	看護部	2015.6.21	神奈川県 PD 臨床カンファレンス	混合病棟における PD 看護について	横浜	一般・口演
甲斐明美	看護部	2015.7.18	第 42 回日本脳神経看護研究学会 第 2 回関東地方部会	栄養摂取と身体活動 ～看護実践、動ける体を目指して～	さいたま市	一般・口演
新井淳一郎	看護部	2015.7.29～31	第 30 回日本不整脈学会学術大会	心房細動アブレーションにおける B I S モニター使用経験	京都	ポスター

論文・教科書執筆等				
診療部				
発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
西村潤一	放射線 IVR 科	日本腹部救急医学会雑誌 35(5):571-578, 2015	破裂性腹部大動脈瘤に対する EVAR ―shock index と転帰―	論文

コメディカル部				
金子奈央	リハビリテーション科	PT・OT・ST のための訪問・通所リハビリテーション はじめの一歩 「医歯薬出版株式会社 2015.06」	日常生活場面でのリハビリテーションの実際、リスク管理、簡単に作れる自助具紹介	書籍
金子奈央	リハビリテーション科	リハビリテーション・ホームエクササイズ CD-ROM 付 患者さんに渡せる自主トレーニング 127 「医歯薬出版株式会社 2015.06」	総論、エクササイズの指導例	書籍

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
手塚純一	リハビリテーション科	今日の理学療法指針「医学書院 2015.06」	Ⅱ中枢神経系障害	書籍

◆川崎クリニック

学会発表

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
宍戸寛治	診療部	2015.6.26～28	第60回日本透析医学会学術集会	リン管理の実際－食品、飲料からの無機リンを見直そう－	横浜	主要講演
宍戸寛治	診療部	2015.7.11～12	第7回日本下肢救済足病変学会	当院における足病変の管理	横浜	シンポジウム
由井淑子	看護科	2015.6.26～28	第60回日本透析医学会学術集会	下肢救済を図る看護師連携の会（JOYFUL）を立ち上げて	横浜	口演
鶴澤一行	透析技術課	2015.6.26～28	第60回日本透析医学会学術集会	L-カルニチン静注剤の有用性の検討	横浜	口演
中村賢洋	透析技術課	2015.6.26～28	第60回日本透析医学会学術集会	ファイルメーカーを使用したオンラインHDF（OHDF）評価と管理	横浜	ポスター
玉木 遼	透析技術課	2015.6.26～28	第60回日本透析医学会学術集会	前希釈オンラインHDF療法（O-HDF）の長期継続による臨床症状の変化	横浜	ポスター

◆さいわい鹿島田クリニック

学会発表

【全国学会】

島田尚美	看護科	2015.6.26～28	第60回日本透析医学会学術集会	ダブルチェック方法の見直し～スタッフ意見を活用した取り組み～	横浜	ポスター
臼井美陽	医療相談科	2015.6.26～28	第60回日本透析医学会学術集会	在宅介護支援者に腎臓病勉強会を実施して～ソーシャルワーカーの立場から～	横浜	ポスター
小宮絵美	透析技術課	2015.6.26～28	第60回日本透析医学会学術集会	前希釈オンラインHDF（O-HDF）開始前後の臨床症状の変化	横浜	一般・口演

◆川崎健診クリニック

学会発表

【全国学会】

菊地利可	検査科	2015.7.30～31	第56回日本人間ドック学会学術集会	脂肪肝と肥満関連因子についての検討	横浜	
------	-----	--------------	-------------------	-------------------	----	--

◆川崎在宅部門

学会発表

【全国学会】

清崎由美子	在宅事業部	2015.7.18～19	第20回日本在宅ケア学会学術集会	利用者主体のケアを組織的・継続的に提供するための訪問看護のしくみづくり	東京	ポスター
-------	-------	--------------	------------------	-------------------------------------	----	------

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【全国学会】

山田宗明	心臓血管外科	2015.6.3～6	第43回日本血管外科学会	両側膝窩動脈瘤に伴う急性下肢虚血に対し、両側遠位バイパス施行し救済した1例	横浜	
清水将継	心臓血管外科	2015.6.3～6	第43回日本血管外科学会	Candy-Plug法にて偽腔閉塞が得られた慢性大動脈解離の1例	横浜	
清水将継	心臓血管外科	2015.7.9	第20回日本冠動脈外科学会	DES留置後広範囲LAD解離に対する緊急内膜摘除およびLITAによるonlay patch graftingの1例	京都	
長谷川耕太郎	循環器内科	2015.6.5	ADATARA LIVE DEMONSTRATION 2015	BRSの将来	福島	
荒巻和彦	循環器内科	2015.7.30	第24回日本心臓血管インターベンション治療学会	A higher likelihood of adverse events after cobalt-chromium everolimus-eluting stent in ACS patients than non-ACS	福岡	
荒巻和彦	循環器内科	2015.7.30	第24回日本心臓血管インターベンション治療学会	The safety of retrograde PCI for CTO lesions supplied with blood flow through the jeopardized collaterals	福岡	
芝崎太郎	循環器内科	2015.7.30	第24回日本心臓血管インターベンション治療学会	4.0ミリ以上のバルーンによる後拡張を必要とした3.5ミリ径DES植え込み後の評価	福岡	
佐藤孝宏	循環器内科	2015.7.30	第24回日本心臓血管インターベンション治療学会	Stent-jailされたLCXへの治療中に8か月前に留置したstentが抜去され経橈骨動脈的に回収した1例	福岡	

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
黒木崇文	循環器内科	2015.7.30	第24回日本心臓血管インターベンション治療学会	Clinical characteristics of myocardial infarction patients with angiographic "crab-nail" appearance	福岡	
入江寿光	循環器内科	2015.7.30	第24回日本心臓血管インターベンション治療学会	Usage survey of distal protection device Filtrap for acute myocardiac infarction in our hospital	福岡	
畠 信哉	循環器内科	2015.7.9	TOPIC 2015	Pros and Cons（太カテ）	東京	
元 志宏	内科	2015.6.28	第60回日本透析医学会	血液透析患者におけるルビプロストンの有用性	横浜	
野辺香奈子	内科	2015.6.28	第60回日本透析医学会	クエン酸第二鉄投与によるESA治療、鉄動態への影響についての検討	横浜	
清水喜徳	外科	2015.6.11	第27回日本肝胆膵外科学会	腹腔内出血で発症した巨大膵漿液性嚢胞腫瘍（SCN）の1切除術	東京	
児玉ひとみ	外科	2015.7.3	第23回日本乳癌学会	乳癌の針生検と切除標本における病理所見の一致率の検討	東京	
中村 靖	外科	2015.7.3	第23回日本乳癌学会	FEC100施行後のトラツズマブ投与中に僧房弁後尖の逸脱による心不全をきたした一例	東京	
佐々木 亨	整形外科	2015.6.26	第41回日本骨折治療学会	不安定型鎖骨遠位端骨折に対するZIP TIGHT AC Jointを用いた鳥口鎖骨靱帯再建術の治療成績	奈良	
山崎美保子	放射線科	2015.6.19	ACAR 2015	A case of intraabdominal desmoid tumor in the mesentery with typical CT findings.	浜松	
山崎美保子	放射線科	2015.7.17	第306回BODY-CT研究会	便潜血陽性の70歳女性	東京	
菅野壮太郎	診療情報担当	2015.7.30	第56回日本人間ドック学会	人間ドック受診日当日における検査や結果説明のキャンセル割合	横浜	

【地方学会】

阿部敏幸	内科	2015.6.13	第100回日本消化器内視鏡学会関東地方会	当院における総胆管結石に対するEST併用EPLBDの治療成績	東京	
染村 祥	内科	2015.6.13	第100回日本消化器内視鏡学会関東地方会	総胆管穿破により閉塞性黄疸を呈した膵管内乳頭粘膜性腺癌の一例	東京	

コメディカル部

小林陽平	リハビリテーション室	2015.6.5～7	第50回日本理学療法学術大会	急性期脳血管障害患者における歩行予後予測モデルの交差妥当性－他施設での検討－	東京	
渡邊由美	薬剤室	2015.6.18～19	第65回日本病院学会	後発医薬品導入に伴う経済効果の検討	軽井沢	
森泉恵子	リハビリテーション室	2015.6.18～19	第65回日本病院学会	当院における訪問リハビリテーションの現状と課題	軽井沢	
加藤真理奈	リハビリテーション科	2015.6.19～21	第49回日本作業療法学会	左肩関節腱板損傷事例への教育的作業療法の一考察	神戸	
藤山真由美	生理検査室	2015.7.30～31	第56回日本人間ドック学会学術集会	40から60歳代の男性における約4年後での一少量の低下と年齢や喫煙、運動習慣との関連	横浜	
里村知克	CE室	2015.7.30～8.1	第24回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	当院におけるステント再狭窄病変に対するDCBとDESの使用検討	福岡	
清水大輔	放射線室	2015.7.30～8.1	第24回日本心臓血管インターベンション治療学会学術集会	CAGにおける従来撮影法とDual axis rotational Angiography(Xper Swing)の比較検討	福岡	

看護部

六反勝美	看護部	2015.6.18～19	第65回日本病院学会	退院調整を担う看護師を育成する教育研修の成果	軽井沢	
下室公子	看護部	2015.6.18～19	第65回日本病院学会	病床編成と診療報酬改定における看護必要度の推移と看護介入の評価	軽井沢	

事務部

安齋健太郎	電子カルテ室	2015.6.18～19	第65回日本病院学会	院内システム開発における業務効率化事例の報告 ～看護日誌管理システム開発～	軽井沢	
-------	--------	--------------	------------	---------------------------------------	-----	--

◆さやま総合クリニック

学会発表

【全国学会】

萩原美桜	外科	2015.7.2	第23回日本乳癌学会	両側乳房の葉状腫瘍にリンパ節転移との鑑別を要した左腋窩副乳の線維線種を合併した症例	東京	
林 良寛	小児科	2015.7.11	第51回日本周産期新生児医学会	水平断超音波断層撮影を用いた母乳哺乳中の乳首および乳汁の観察と授乳評価の試み	福岡	